



# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第34号

2020年1月発行

## 新年のご挨拶



総長 今井 康陽

### 新年あけまして おめでとうございます

昨年は皇太子徳仁親王殿下が5月1日に第126代天皇に即位され、新たな元号「令和」が施行された記念すべき年となりました。また、明るいニュースとして、ラグビーW杯が日本で開催され、日本チームがベスト8という快挙を成し遂げ、日本中が彼らの戦いぶりに熱狂し、“ONE TEAM（ワンチーム）”が流行語大賞に選ばれました。しかし、その一方で、日本は少子高齢化が進み、本格的な高齢化社会を迎えており、社会保障費は増大の一途を辿るなど、大きな社会問題となっています。

市立池田病院でも患者さんの高齢化が進んでいます。高齢の患者さんは、1つの病気だけということは少なく、合併症を持っていることがほとんどです。当院は多くの診療科を有し、各診療科の専門医が協力して診療に当たるとともに、看護師、薬剤師、リハビリ技師、医療ソーシャルワーカーなど多職種が連携して、入院から在宅に復帰するまでトータルなケアを行っています。また、高齢者の救急搬送も増加しており、365日休みなく救急の受け入れを行っています。このような救急診療を円滑に行うため、かかりつけ医の先生、救急隊、ケアマネジャー、施設の方々とも連携をとりながら日々の診療を行っています。

また、少子化対策としても、池田市での出産件数を少しでも増やすべく、当院での出産費用を引き下げ、アメニティなどにも力を入れるとともに、産婦人科専門医と助産師が協力して妊婦さんの受け入れを行っています。

皆さんが安心して暮らせる地域医療を確立すべく、「創意に富み、思いやりのある、信頼される病院をめざして」の基本理念のもと、本年も職員が一丸となって“ONE TEAM（ワンチーム）”で努力していきたいと思っております。



病院長 柴田 邦隆

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、放射線治療科に常勤医師を迎え、小児外科の外来も開設し、質、量ともますます充実してきました。医師をはじめ職員の数も増え、年間の入院患者数や手術件数、救急受入患者数など年々増加しています。また、今年はこの年末年始に行った臨床検査科の生化学・免疫検査装置検体搬送システムの更新や外来化学療法室の増床によって、さらなる充実を図ります。

さて、日本は少子高齢化問題が進行し、人口が減少していく将来を見据えて、国は地域医療構想のもと地域の病床数を適正な数まで削減し、病院の機能を分化・明確化して、地域全体で効率的に運営することを求めています。そのような中で市立池田病院は、今後も急性期病院としての役割を果たすべく、要件を一つ一つ満たすための努力を行っています。また自治体病院という特性を生かして、医療、介護、福祉など多くの施設と綿密な連携を進め、医療の効率化と地域包括ケアシステムの実現に向けて進んでいくつもりです。

昨年は富田新市長が誕生し、当院も新たに福島病院事業管理者を迎えました。当院の基本理念である「創意に富み、思いやりのある、信頼される病院をめざして」、そして市民の皆さんに安心して安全な医療を提供できる医療機関として、今後も頑張っていきたいと考えています。

### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 食物アレルギーと負荷試験

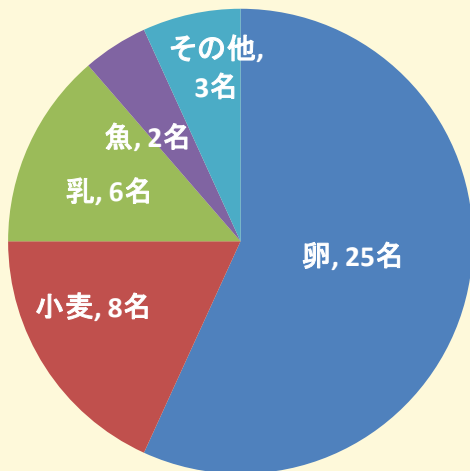
当院小児科では、食物アレルギーの診療に力を入れています。  
毎週火曜日に日帰り入院で食物経口負荷試験を行っています。

## 食物経口負荷試験

食物経口負荷試験は、食物制限をしている患者さまに対して、対象の食物を食べられるようになったかを確認する、あるいは、どの程度の量までなら食べられるのかを確認する試験です。

当院では、日帰り入院で行っており、対象の食物をアレルギーの強さに合わせた少量から始めて、時間ごとに量を増やして食べていただきます。試験により食べられる量を確認したうえで、自宅で経口摂取を進めていただきます。

当院小児科では上野副部長が担当しており、2018年度には44名の患者さまに試験を行いました。



2018年度に実施した食物経口負荷試験の内訳



小さいお子さまは、病室では落ち着かないため、プレイルームを適宜使用して試験を行っています。

## アドレナリン自己注射薬「エピペン」

食物アレルギーの重症な反応としてアナフィラキシーショックがあります。病院ではアドレナリン筋注で治療が行われることがありますが、自宅あるいは学校などで症状が起こったためのために、患者さまにエピペンを処方することがあります。これは、病院に到着するまでの間、症状を緩和するためのアドレナリンの自己注射薬です。小さいお子さまの場合は、保護者や学校の先生に注射していただくことになります。エピペンは、使用方法について指導を受けていただき、練習をしてから処方します。



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。  
初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

# 4階東病棟のご紹介

4階東病棟は、小児科と血液内科の混合病棟になっています。  
今回は、小児科についてご紹介します。  
小児科では、お子さま、ご家族が安心、安全に治療が受けられることを心がけています。

## 院内学級（市立池田小学校管轄）

当院では、入院することで登校できないお子さまに、学業が遅れることや学校生活へ戻る際のフォローをしていくために、院内学級を設けています。

長期入院の場合は、院内学級に転校の手続きをとり、学校と同様に時間割に沿って授業を進めていきます。教員免許を持った専任の教師が指導を行い、疾患に合わせて無理なく学習し、季節行事にも参加します。



当院では、お子さまに対し、耳鼻いんこう科や整形外科、歯科・歯科口腔外科、形成外科などで幅広い手術を行っています。そこで、お子さまたちの気持ちを和らげるために病棟では「遊び」を取り入れたプレパレーションに取り組んでいます。



手術前日から退院までの手術に関する一連の経過を絵本で説明しています。

人形に心電図モニターや酸素マスク、点滴などを装着し、手術後の様子が視覚からイメージができるようにしています。

# 個人情報に関する取り扱いについて

当院は、信頼の医療に向けて、患者さまに良い医療を受けていただけるよう日々努力を重ねております。患者さまの個人情報につきましても、適切に保護し管理することが非常に重要であると考えております。そのため、以下のとおり個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めています。

## 1. 個人情報の収集について

当院が患者さまの個人情報を収集する場合、患者さまの診療および看護にかかる範囲内で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得たうえで実施いたします。

## 2. 個人情報の利用および提供について

当院は、患者さまの個人情報の利用につきましては、以下の場合を除き本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

- ・患者さまの了解を得た場合
- ・患者さまを識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
- ・法令等により提供を要求された場合

当院は、法令の定める場合等を除き、患者さまの許可なく、その情報を第三者に提供いたしません。

## 3. 個人情報の適正管理について

当院は、患者さまの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さまの個人情報の漏洩、紛失、破壊、改ざんまたは患者さまの個人情報の不正なアクセスを防止することに努めます。

## 4. 個人情報の確認、修正等について

当院は、患者さまの個人情報について、患者さまが開示を求められた場合には、「池田市個人情報保護条例」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

## 5. 問い合わせの窓口

当院の個人情報保護方針に関しての窓口は市立池田病院事務局医療管理課です。なお、個人情報保護のため、お電話での入院や病状に関するお問い合わせにお答えすることはできませんのでご了承ください。

## 6. 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、池田市個人情報保護条例、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

# 市民公開講座のご案内

開催日	テーマ	会場
2/18 (火)	整形外科主任部長 若林 元 先生 13:30~ 「つらい膝の痛み ～あきらめないで！いつまでも歩き続けられる足のために～」	東館2階 講堂
3/11 (水)	泌尿器科主任部長 井上 均 先生 13:30~ 「尿に血が混じる ～知っておきたい怖い血尿について～」	東館2階 講堂

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号  
Tel 072-751-2881 (代表) Fax 072-754-6374  
URL <https://www.hosp.ikedda.osaka.jp>  
編集・発行：市立池田病院 広報委員会